

町内会広報

発行 玉川学園町内会 会長 徳力幹彦
HP <http://tamagawagakuen-chonakai.net>

特集・2019年度定期総会

本年度の定期総会が4月21日(日)午後1時から「町田第五小学校体育館」で会員207名が出席して開催されました。昨年までの「さくらんぼホール」から、より収容人員の多い「町田第五小学校体育館」へと会場が変更されました。また、今回から試行された委任の可否の確認では、会員3,050名の方が「委任」の意思表示をされました。総会は古川総務部長の開会の辞、徳力会長の挨拶に続いて、議長に淵倫彦さん(第四地区)、副議長に井上宮子さん(第七地区)を選出し、その後このお二人により議事が進められました。

◎2018年度事業報告、決算報告ならびに会計監査報告
はじめに服部副会長から昨年度の各部の事業活動について報告がありました。
総務部では会議の効率化や町内会の窓口としての役割の向上。広報部では「町内会だより」のカラー化と「ホームページ」の充実。ホームページ」の充実。防犯防災部では災害への備えの啓発や自主防災隊の充実と「総合防災訓練」の実施。環境部では環境問題への取り組みと住民の意識向上。高齢者部では敬老会の「桜実会」と「こすもす会館」の2か所での実施。成人部では「親睦バス旅行」と「健康ウォーキング」

の各年2回の実施。青少年部では「クリスマス子ども集い」「餅つき体験会」の実施と「秋の子どもまつり」や「フラッグアート」への参画。文化部では「落語会」「音楽祭」の実施、などの活動が報告されました。
また、各地区で実施している地区活性化事業では、各地区が工夫を凝らした事業を実施し非会員の方も参加して好評を頂き、地区活性化に繋がりました。
決算報告では、松尾経理部長から一般会計と特別会計について項目ごとに詳細な報告がありました。(一般会計分資料を別紙1に掲載)。会計監査の昌谷康子さんから、預金通



帳と領収書など関係書類を精査した結果、玉川学園町内会の財産管理は極めて厳格に行われており、正確かつ妥当である旨の監査報告がありました。
◎2019年度事業計画、および予算案
まず、大山副会長より2019年度町内会活動の「方針と活動

の進め方」(下欄に掲載)について説明があり、続いて各部(総務部、広報部、防犯防災部、環境部、高齢者部、成人部、青少年部、文化部)の各部長からそれぞれその部の事業計画が提案されました。服部副会長から地区活性化事業を今年も継続実施の提案がされました。さらに松尾経理部長から事業計画に基づき「2019年度予算案」について説明がありました。(一般会計分資料を別紙2に掲載)

◎「認可地縁団体」について
菊地副会長から、一昨年提案された「認可地縁団体」について経過報告がなされ、継続して検討していきたいとの提案がありました。
質疑応答の後、採決が行われ、この4議案は満場一致で承認されました。
◎会計監査の選出
選挙世話人(代表代行)種市邦朗さんの推薦により、佐田由美さん(第七地区)鈴木恵さん(第七地区)が今年度の会計監査に選出されました。
すべての審議が終了し、役員および会計監査の方々が紹介され、代表して徳力会長から挨拶があり、2019年度定期総会は無事終了しました。

2019年度 事業計画 —方針と活動の進め方—

「人にやさしい安心して住むことのできる明るいまちづくり」の推進と
「だれもが歩いて豊かな景観を楽しめるまち」を目指し、住民の声を行政に反映させるとともに、
住みよい環境の整備、促進に努めます。

- (1) 防犯意識の高揚をはかり、防犯・環境パトロール隊の活動を推進し、安全・安心なまちづくりをめざします。
- (2) 防災意識の高揚をはかり、自主防災隊の活動を推進し、災害に強いまちづくりをめざします。
- (3) 「混ぜればごみ」「分ければ資源」廃棄物減量と資源物の活用に取り組み、循環型社会の推進をめざします。
- (4) 「広報」、「町内会だより」および「ホームページ」を通じて、地域の情報を共有し、会員相互の連帯をすすめます。
- (5) 関係諸団体とも連携して、子どもから高齢者まで広く参加できる集いを企画実践し、交流を深めます。
- (6) 会員の高齢化、環境の変化など、地域社会が抱える課題の解決に向けた取り組みをすすめます。
- (7) 玉川学園町内会(1地区～8地区)の地区別活動推進による地域の活性化と近隣の絆の強化を図ります。
- (8) 玉川学園コミュニティバス推進委員会の中核として、会の運営に努めます。
コミュニティバス(玉ちゃんバス)の運行に協力し、交通安全のモラル向上を目指して、啓発活動を展開します。
- (9) 玉川学園地区社会福祉協議会の運営を支援します。
全ての住民が、地域の福祉課題を話し合い、助け合う活動を実践します。
- (10) 「こすもす会館」「さくらんぼホール」の運営について関係自治会と協働し、その中核として、
両施設の円滑な運営に努め、広く会員の利用促進をはかり、地域コミュニティの場として寄与するよう努めます。
- (11) 町田市町内会・自治会連合会、玉川学園・南大谷地区協議会等の諸団体との情報交換を密にして、
地域特有の課題に積極的に取り組んで住みやすい住宅地域としての発展をめざします。
- (12) 組織体制強化に備えて、「認可地縁団体」への取り組みを引続き検討します。

ご挨拶



会長 徳力 幹彦

昨年の「玉川学園町内会広報129号」で、私はコミュニケーション(近隣に住む方々が共同体意識を持つている集団)作りに励んでいたが、今年もこのお願いを続けたいと思います。

阪神淡路大震災あるいは東日本大震災のよ

うな大地震が、今後30年以内に町田市を襲う確率が高いということ

人命救助、そして避難所運営などは、コミュニケーションで全て処理していかねければならないと予想されます。

私たちの玉川学園町内会は、町田市地域資源物回収特別指定団体として独自に資源物の収集を担当しています。

環境と防災防災及び高齢化社会でのさりげない見守りを切り離さずに連携していくため、関連部署と密に連絡を取りながら、楽しく取り組んでいきたいと思

理...各環境委員が、1週間交代で玉川学園前駅構内の北、南側に置いてある「善意の傘」を管理します。

か、町内会事務所にご連絡下さい。9. 憩いの椅子の維持管理...長年風雨にさらされ老朽化し不都合

2019年度 役員・幹事

Table listing the 2019 board members and staff, including President Tokimasa Toki, Vice Presidents, and various department heads like Environment, Disaster Prevention, and Finance.

町内会が関わる 主な関連団体のご紹介

町内会が幹事を役員として派遣している主な関連団体は次の通りです。

- List of related organizations including: 町田市町内会・自治会連合会(市連), 玉川学園・南大谷地区町内会自治会連合会(玉南連), 玉川学園・南大谷地区協議会, 玉川学園コミュニティバス推進委員会, さくらんぼホール.

(2019年度の総会にて、これまでの玉川学園交通問題協議会・玉川学園コミュニティバス推進委員会)の名称を変更することにいたしました。

環境部の活動 部長 三宅 俊剛

1. 環境委員会...今年4回(5月、9月、12月、3月)開催。各支部選出の環境委員54名からなり、環境に関する種々の課題を検討します。

2. 環境リサイクル施設見学勉強会...今年も、環境委員を対象としたコースと町内会会員を対象としたコースの2コースを計画しております。



防犯防災部・自主防災隊

部長 鳥倉 正美

1. 防犯

当地域ではここ数年、特殊詐欺被害に悩まされています。詐欺グループは手を替え品を替え、様々な手口で地域住民をだまそうと仕掛けてきます。注意喚起を呼びかける街頭でのビラ配り、防犯パトロールでの呼びかけ、手口を学ぶ防犯勉強会、町内会の広報メディア（ホームページと毎月発行の町内会だより）に注意喚起と対処方法を掲載するなど様々な取り組みを行いました。が、一向に収まる気配はありません。今年3月から隔月で特殊詐欺の手口と具体的な対策を示した特集記事を掲載しています。是非この特集記事を一読いただいで被害に遭わないようにしましょう。

2. 防災

町内会や自主防災隊が取り組む防災とは、災害は台風や風水害など、被害が及ぶ時間や規模が予想できて事前に対応が出来るものと、地震のように発生と被害規模が予想しにくいものに分かれます。また、前者のように公的機関（自治体、消防、警察など）によって事前の準備と発災時の迅速な対応が取れるもの

や家具の下敷きになりながらも、しばらくは生きていた窒息死が61%となっています。火災による焼死や熱傷による死亡も約1割ありました。更に、倒壊した家屋や転倒した家具などから救出された方の内、生存者の占める割合は発災当日の1月17日で75%、2日目では25%、3日目では15%に減っています。日を追うごとに生存者が急激に減っていったことが分かります。また、筋組織が圧迫され続けることで発症するクワッドシユ症候群によって救出された後に亡くなった方もいます。この事例から学ぶことは、救出は時間との勝負だと云うことです。

阪神・淡路大震災では生き埋め・閉じ込めになった方が数万人に及びました。その内、助かった人の約4割が自力、約5割強が家族・隣人・通行人などによって救出されています。公的機関による救出は僅か2%未満でした。都市部の大震災に於いては、公的機関による救出救助は道路などのライフラインの崩壊や人員不足、状況把握に手間取るなど様々な要因で遅延しています。阪神・淡路大震災では近隣住民による救出活動によって多くの命

が助けられました。このような結果をうけて国は公助の限界を認識し、地域防災力（互助）の強化の為に地域住民による自主防災組織を災害対策基本法に盛り込みました。この地域に大きな影響を及ぼす地震として、は首都直下地震と南海トラフ地震があります。この地域では、首都直下地震の方がより大きな被害を与えると予想されています。首都直下地震は首都直下地震対策特別措置法で定義された名称です。首都直下地震とは、首都圏（東京都を中心とする150km四方のエリア）で、30年以内に70%の確率で起きると予想されるM7クラスの地震の総称です。この発生確率は歴史地震学などの知見を基に予想されたものです。首都圏で起きるとされる大地震を21タイプに分けて国や都県が被害想定を出しています。町田市では大きな影響を受けると思われる幾つかのタイプを選び町田市地域防災計画にその被害想定を記載しています。この町田市の被害想定では、首都直下地震により、震度6弱ないし震度6強の揺れが発生すると予想されています。古い耐震基準で建てられた家屋を中心

に家屋の倒壊、塀や電柱の倒壊、この地域に多い急傾斜地での崖崩れなどが発生するとしています。更に、家具の転倒、落下物で多くの負傷者や死者も予想されています。また、震度と発災件数の間に相関があると調査結果も出ています。震度6の地震では火災が多発する傾向があり初期消火に失敗した場合、広範囲に延焼するとのシミュレーション結果も出ています。南関東で予想される震災は広域的で多くのライフラインがダメージを受け、発生後しばらくは、消防や警察、自衛隊による救助や消火は見込めません。従って、地域住民が力をあわせて消火活動を行わなければ延焼が拡大することになります。我が家が地震に耐えても近所の出火で類焼し、焼け出されて避難所生活を余儀なくされる可能性があります。

多くの自主防災組織が町内会・自治会を母体に結成されました。玉川学園町内会傘下の自主防災組織は八つある地区ごとに結成されています。名称は、玉川学園第一地区自主防災隊、第八地区自主防災隊となっています。玉川学園町内会会員は所属する地区の自主防

災隊員になっています。阪神淡路大震災以降も各地で大地震が発生し、南海トラフ地震や首都直下地震の発生確率を取り沙汰されるなかで、地域住民の防災への意識が変化し始めています。「震災による被害を最小限に留めよう」、「自分たちのまちは自分たちで守る」といった意識が芽生えています。

パトロール 平時は減災の視点で次の活動を行います。

①在宅避難推進のための啓発活動（家具転倒・落下物の防止、水・食糧の備蓄（ローリング・ストック）、簡易トイレなど在宅避難に必要な備蓄など）

②防災マップ・ハザードマップの作成・更新と周知

③防災倉庫の管理、防災資機材の備蓄管理

④安否確認訓練及び安否確認方法の工夫（要配慮者の把握、災害時の安否確認を確実に行う為に地域住民の了承を得て安否確認票を提出してもらい取り組み、安否確認の効率アップや近隣住民の交流につながる「白いタオル出し」運動など）

⑤救出救命救護訓練（救出方法、応急手当、AED・心肺蘇生方法、負傷者の搬送方法）

⑥消火訓練（消火器、スタンバイ、軽可搬型消防ポンプ（D級ポンプ）による消火など）

⑦避難誘導訓練（地域の危険個所の把握、一時集合場所の周知、避難ルートなど）

⑧給食給水訓練（給水拠点や協力井戸の把握、濾水器の動作訓練、炊き出し訓練、防災食のアレンジなど）

⑨避難施設開設・運営マニュアル作成と整備

⑩開設・運営訓練の知見で整備や手直し

⑪マニュアルに沿った避難施設開設訓練と避難施設運営訓練

⑫学区を同じくする近隣の自主防災組織と連携して避難施設運営会議を開催し課題を解決する

⑬防犯・環境パトロールにて地域の防火防災設備の点検や所在地を把握すると共に、地域の危険個所の把握、避難経路の把握に努める地震を止めることはできません。しかし、地域住民の創意工夫と少しの努力で被害を減らすことができます。

自主防災隊の活動 震度6弱以上の地震発生時には地域住民と共に次の活動を行います。

①安否確認と救出救命救護活動と負傷者の搬送

②消火活動

③避難施設の開設運営

④避難施設への避難誘導

玉川学園町内会一で検索
ホームページ
ichonankai19@b3k3plata.or.jp

玉川学園町内会一で検索
ホームページ
ichonankai19@b3k3plata.or.jp

玉川学園町内会一で検索
ホームページ
ichonankai19@b3k3plata.or.jp

玉川学園町内会一で検索
ホームページ
ichonankai19@b3k3plata.or.jp

地区自主

防災隊長の挨拶



第一地区自主防災隊長 種市 邦朗
 地区は5支部41班で、会員数569で構成されています。

自主防災隊の役員は隊長以下11名で構成されており、拠点である玉園台児童遊園に防災倉庫を有し、大災害発生時に必要な備品類(脱出用・救助用・救護用・延命用他各種工具類、日常生活用品等)の保管管理を行っております。

また、地区独自の訓練を行い、今年で11年目になります。町田消防署職員のご指導で心



第二地区自主防災隊長 藤井 邦夫
 道路の安全を調査する仕事をしていて、関係で、阪神大震災や東日本大震災などの被災現場に赴き、自然の脅威を感じてきました。

河合隼雄氏(臨床心理学者)の著書『河合隼雄の幸福論』の一節、「地震に学ぶ」では、阪神大震災の振り返りとして、「今回の災害で、うまく二次災害を避けたようなところは、全体的な人間のつながりと、自己決定力をもったリーダーの、うまい組合せが



第三地区自主防災隊長 田代 敏行
 地球温暖化の影響

でしようか経験したこのない大規模な自然災害が発生し多くの被害が出ています。

私達の玉川学園地域はどうでしょう。起伏が多いえに道路も狭く袋小路も多く、もし災害が発生した時は消防、警察及び医療の手が届かない状況に陥れることは疑いのない現実です。自分達の身は自分達で守らなければなりません。



第四地区自主防災隊長 松澤 武陽
 町内の仕事は微力ながらお手伝いさせていただきます。

自分自身を訓練してゆくことだと思ふ。これは極めて困難なことではあるが、不断の努力を続けることによって可能になる、と私は思っている。とあります。いざという時、お互いに助け合える地域環境を作っておくことに努力したいと思います。よろしくお願ひします。



第五地区自主防災隊長 元木 昭一
 首都圏でM6以上の地震の発生確率が30年以内で70%と言われている。

地震はいつ来るのか? 在宅時、外出時、一人の時、その時に貴方の準備は?

第五地区では、大地震(災害)に備え防災への対応を少しずつ強化しています。災害発生時に玉川学園は消防・防犯の対応が困難な地域となっております。また災害指定病院からも遠いため少しでも減災(災害を防ぎ減少)を



第六地区自主防災隊長 島倉 正美
 第六地区自主防災隊は東玉川学園一丁目と二丁目を活動拠点にしています。

隊は東玉川学園一丁目と二丁目を活動拠点にしています。当地区では、みんなの防災フェアと名付けた、子供から高齢者まで楽しめる防災訓練を毎年実施しています。その担い手である防災委員も半数以上が数年間役に留まって活動しています。更に、第六地区自主防災サポーターには多くの方が参加しています。一方、学区を同じくする他の自主防災組織と共に成瀬台小・中学校避難施設運営会議を構成しています。



第七地区自主防災隊長 後藤美知子
 地区は6つの支部があり660余の所帯数です。

災害時の避難施設は町田第五小学校ですが、線路があり離れているので、いざという時は近隣の助け合いがとても大切だと思います。

今年の目標の一つ目は白いタオル出し訓練を広げる事です。去年一部の支部でタオル出しの練習をしましたが、今年は六支部全体で取り組めます。玄関に白いタオルを出す事で「我が家は無事」を知らせ、出ているければ隣・近所で「大丈夫です」と考えております。



第八地区自主防災隊長 下山 洋一
 私たちの第一の活動は避難生活の体験と防災学習です。

は玉川学園地域の南西に位置し、南大谷地域に隣接する玉川学園八丁目と東玉川学園四丁目です。当地は急傾斜の狭い路地などが多く、震災による家屋の倒壊や地滑り、延焼火災、また水害の際は低い土地での浸水の可能性のある地域です。当地の指定避難施設は南大谷小・中学校です。毎年近隣の南大谷町内会等と合同で総合防災訓練を開催し、合わせて小・中学生を対象に、避難宿泊体験(体育館



2018年度一般会計収支決算報告

自 2018年4月1日
至 2019年3月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	2018年度予算	2018年度実績	摘 要
前年度繰越金	3,589,553	3,589,553	
町内会費	7,878,000	7,726,170	年会費 2,000円 / 3ヶ月 500円
市・補助金	799,800	799,800	町内会世帯割 均等 12,000円 + 200円 × 3939世帯
その他の収入	0	13,840	80年誌、他団体よりの印刷費収入
計	12,267,353	12,129,363	

支出の部

(単位:円)

科 目	2018年度予算	2018年度実績	摘 要	
総務関係費	消耗品費	130,000	115,786	事務用品 他
	光熱給水費	120,000	93,525	電気 ガス 水道料金
	通信費	750,000	663,189	支部長, 役員, 事務所の電話代 電波利用料 はがき 切手代
	交通費	60,000	18,120	諸交通費
	渉外費	150,000	75,000	会費・市町内会自治会連合会研修費等
	会議費	450,000	318,669	支部長会・幹事会・地区会 他
	備品費	550,000	412,379	印刷機・複写機リース料・パソコン維持費 他
	研修費	250,000	194,558	幹事研修会
	人件費	2,000,000	1,956,000	事務員給与
	図書印刷費	450,000	345,220	印刷用原紙・インク・用紙代金
	保険料	40,000	33,820	事務所火災保険料
	運営費	50,000	45,020	総会費用他
	慶祝費	200,000	216,000	新入学児童へのお祝い・新生児へのお祝い @3,000円
弔慰費	200,000	168,000	弔慰金 @3,000円	
雑費	300,000	184,801	回覧配達料 貸金庫使用料 他	
計	5,700,000	4,840,087		
事業部費	広報部	600,000	474,525	広報 町内会だより発行 他
	防犯防災部	360,000	330,659	防災体験学習 防災訓練 他
	環境部	540,000	493,733	資源回収活動 施設見学 他
	高齢者部	640,000	268,810	敬老会 他
	成人部	530,000	550,239	日帰り親睦バス旅行・健康づくりウォーキング 他
	青少年部	220,000	183,852	クリスマスの集い もちつき体験会 他
	文化部	300,000	327,275	落語会 講演会 他
地区活性化	500,000	354,141	第1地区・第2地区・第3地区・第6地区・第7地区・第8地区	
計	3,690,000	2,983,234		
地域助成金	交通安全協会	10,000	10,000	町田市交通安全協会
	交通問題協議会	30,000	0	玉川学園交通問題協議会
	福祉サービス	30,000	30,000	在宅福祉を考える会
	開放プール	5,000	5,000	町田第五小学校プール開放運営委員会(夏期のみ)
	青少年育成	90,000	90,000	玉川学園・成瀬台地区委員会 町五小・8丁目・青空子供会
	子どもまつり	70,000	70,000	秋の子どもまつり実行委員会
計	235,000	205,000		
予備費	1,000,000	0		
支払合計	10,625,000	8,028,321		
収支差引残高	1,642,353	4,101,042		
合計	12,267,353	12,129,363		

2019年度一般会計予算

自 2019年4月1日
至 2020年3月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	2018年度実績	2019年度予算	摘 要
前年度繰越金	3,589,553	4,101,042	
町内会費	7,726,170	7,700,000	年会費 2,000 円
市・補助金	799,800	789,600	町内会世帯割 均等 12,000 円+ 200 円× 3888 世帯
その他の収入	13,840	0	他団体よりの印刷費収入
計	12,129,363	12,590,642	

支出の部

(単位:円)

科 目	2018年度実績	2019年度予算	摘 要
総務 関係 費	消耗品費	115,786	130,000 事務用品 他
	光熱給水費	93,525	120,000 電気 ガス 水道料金
	通信費	663,189	750,000 支部長, 役員, 事務所の電話代 電波利用料 はがき 切手代
	交通費	18,120	60,000 諸交通費
	渉外費	75,000	150,000 会費・市町内会自治会連合会研修費等
	会議費	318,669	450,000 支部長会・幹事会・地区会 他
	備品費	412,379	550,000 印刷機・複写機リース料 他
	研修費	194,558	250,000 幹事研修会
	人件費	1,956,000	2,000,000 事務員給与
	図書印刷費	345,220	450,000 印刷用原紙・インク・用紙代金
	保険料	33,820	40,000 事務所火災保険料
	運営費	45,020	50,000 総会費用他
	慶祝費	216,000	250,000 新入学児童へのお祝い・新生児へのお祝い @3,000 円
弔慰費	168,000	200,000 弔慰金 @3,000 円	
雑費	184,801	300,000 回覧配達料 貸金庫使用料 他	
計	4,840,087	5,750,000	
事業 部 費	広報部	474,525	700,000 広報 町内会だより発行 他
	防犯防災部	330,659	500,000 防災体験学習 防災訓練 他
	環境部	493,733	540,000 資源回収活動 施設見学 他
	高齢者部	268,810	400,000 敬老会 他
	成人部	550,239	530,000 日帰り親睦バス旅行・健康づくりウォーキング 他
	青少年部	183,852	220,000 クリスマスの集い もちつき体験会 他
	文化部	327,275	360,000 落語会 講演会 他
地区活性化	354,141	500,000 第1地区～第8地区	
計	2,983,234	3,750,000	
地域 助成 金	交通安全協会	10,000	10,000 町田市交通安全協会
	福祉サービス	30,000	30,000 在宅福祉を考える会
	開放プール	5,000	5,000 町田第五小学校プール開放運営委員会 (夏期のみ)
	青少年育成	90,000	90,000 玉川学園・成瀬台地区委員会 町五小・8丁目・青空子供会
	子どもまつり	70,000	70,000 秋の子どもまつり実行委員会
計	205,000	205,000	
予備費	0	1,000,000	
支払合計	8,028,321	10,705,000	
収支差引残高	4,101,042	1,885,642	
合計	12,129,363	12,590,642	